

令和3年度高齢者生きがいづくり・生活支援活動人材育成等事業入門講座 支え合いを広げる地域づくりフォーラム 実施報告（HP版）

高齢者が住み慣れた地域で自立した生活を継続するため、高齢社会の現状や高齢者の生きがいづくりや生活支援活動の必要性、地域住民が主体となる日常生活の様々な支え合い活動について学びました！会場のほかオンライン配信も併用して開催。

講義「地域での支え合いの意義とつながりの重要性」では、木村利浩氏（CLC※地域支え合い推進センター主幹）より、高齢になっても暮らしやすい地域のあり方、日常の暮らしの中にある住民同士のつながりと支え合い等、私たちの暮らしの中に貴重な資源が埋もれており、その資源を見つけ評価し受け継いでいくことが必要とお話いただきました。講義「コロナ下における地域の支え合い」では、池田昌弘氏（CLC理事長）より、制度等が整う一方で社会全体でつながりが希薄になる暮らし方が進んでいるが、コロナ下で様々な活動が停滞する中で継続し深化した活動こそ、住民の自発的な近所付き合いや仲間とのつながりであり、そういった資源をこれからもっと意識していくことが大切であるとお話いただきました。講義の後にはグループでの意見交換も行い、講義と演習を通して、誰もが役割や生きがいを持って暮らすことのできる地域共生社会に向けての様々なヒントやアドバイスをいただきました。

※CLC/NPO 法人全国コミュニティライフサポートセンターの略称



講義風景（村山会場）



演習風景（庄内会場）

【村山会場】

日時：7月17日（土）13時～16時
会場：遊学館（山形市内）・オンライン Zoom
参加：52名（オンライン参加23名）

【庄内会場】

日時：7月18日（日）13時～16時
会場：藤島地区地域活動センター（鶴岡市内）
参加：29名

***** 参加者VOICE *****

- ・地域における支え合い・つながりの大切さを知ることができた。
- ・新しい発見・気づき・今後の支援のヒントをたくさんいただきました。
- ・今まで気づかなかった小さなつながりの大切さを感じました。
- ・講義からグループでの話し合いの流れが良かった。他のグループの発表も興味深かった。
- ・通いの場や地域のつながり、仕組みを新たに作ることに執着していたことに気づきました。コロナ禍でも続いていたものは自主活動でした。

※この事業は県の委託を受け実施しました。